

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

永山公民館

10-05-02-650 永山公民館管理運営費

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	社会教育法第20条、同法第22条6号			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	C1-1	C1-2	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、第4次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成9年4月1日、複合施設「ベルブ永山」に開館。利用者の立場に立った運営として、ホール使用料の割引制度の導入や利用枠改善のための公用利用の調整などを実施。光熱水費などの諸コストの節約や駐車場無料制限時間の変更にも取り組む。開館25年を経て、安定的な施設提供のため、平成29年度には一部の設備の改修工事を実施した。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	社会教育法に基づく社会教育施設としての利用に供するため、施設の円滑な管理運営を行う。利用者懇談会等を通じて、利用者の視点に立った貸館業務の改善や窓口対応の向上を図るとともに、管理組合・指定管理者と十分連携して施設内の安全管理を確保し、老朽化する設備等の計画的な修繕に取り組むことで、良好な施設の管理に努める。	
予算の執行方法	永山公民館の施設運営に関する経費(光熱水費、修繕費、施設総合管理委託、保守委託、ホール運営委託、管理組合共益費など)、施設の窓口対応に要する経費(夜間・祝日受付など)、新型コロナウイルス感染症対策を講じるための消耗品経費を支出した。	
事業の成果	設備、備品等の不具合部分の修繕などの維持を計画的に行うとともに、年間を通して、電気等のエネルギー消費量の工夫などのコスト削減に取り組み、良好な施設運営を継続することにより、地域の学習拠点として市民同士がつながり、様々な市民活動を促進する場として、ハード、ソフト両面において、利用者に気持ちよく使っていたけよう施設管理を行った。また、必要な感染症対策を行いつつ、感染状況の変化等に適宜対応し、利用者にもご協力いただきながら、安全な利用・施設管理を行った。開催を見送っていた利用者懇談会の実施や意見箱の設置により利用者の意見を取り入れ、修繕等によるハード面の整備だけでなく、ソフト面でも快適な利用を促進した。	

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)
決算額(単位:千円)	179,314 千円	164,246 千円	168,367 千円	166,997 千円	187,974 千円
事業にかかる実コスト	210,403 千円	196,710 千円	201,118 千円	200,347 千円	222,231 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	11,601 千円	0 千円	0 千円	16 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	22,382 千円	18,946 千円	11,543 千円	17,912 千円
	一般財源	145,331 千円	145,300 千円	156,824 千円	149,069 千円
	間接経費				
職員人件費	25,202 千円	25,747 千円	25,113 千円	24,848 千円	
《従事人員数》	3.00 人	3.00 人	3.00 人	3.00 人	
その他の人件費	5,887 千円	6,717 千円	7,638 千円	8,502 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	年間施設(貸館)使用可能件数	目標	11,055件	11,154件	11,121件
		結果	10,425件	11,121件	—
成果指標 (アウトカム)	実際の施設利用件数(利用延人数)	目標	7,604件 102,973人	7,683件 103,831人	7,650件 103,543人
		結果	6,102件 51,218人	7,092件 74,001人	—

特記事項

-

## ◇自己点検

成果 推移 の 指標	今後の見通し		方 向 性 の イ	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財源		
B	B	B	イ	開館から25年を経た現在、感染症等への必要な対策を講じつつ、日々、管理点検を実施し、今後も利用者に快適で安定的な施設として提供し続けていけるよう施設管理に努める。

10-05-02-650	永山公民館管理運営費
--------------	------------

◇ 執行状況及び成果等

1 施設使用状況

年度	使用可能 件数	使用件数				使用率 (%)	使用人数
		目的内	官公庁	主催	計		
30	11,154	6,641	285	824	7,750	69.5	105,192
元	10,263	5,851	282	780	6,913	67.4	89,542
2	8,781	3,750	415	586	4,751	54.1	39,073
3	10,425	5,112	364	626	6,102	58.5	51,218
4	11,121	6,040	344	708	7,092	63.8	74,001

※使用可能件数：貸館事業で、年度内に使用可能な貸出単位数

2 管理経費

(円)

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経費合計	179,314,196	164,245,703	168,367,106	166,997,016	187,974,275
報酬	—	—	—	—	—
報償費	70,900	—	—	—	—
旅費	—	—	—	—	—
需用費	29,176,112	26,390,858	25,359,535	27,010,503	40,856,384
役務費	1,212,293	1,258,810	1,144,724	1,138,369	1,026,510
委託料	54,644,368	56,066,415	56,475,950	57,279,878	61,555,625
使用料及び賃借料	347,242	318,141	279,843	345,222	462,072
工事請負費	15,185,880	—	—	—	—
原材料費	0	7,920	8,052	0	0
備品購入費	890,784	870,490	1,224,300	—	—
負担金・補助及び交付金	77,766,442	79,301,934	82,487,777	80,819,734	83,988,239
償還金・利子及び割引料	20,175	22,335	1,386,925	403,310	85,445
公課費	—	8,800	—	—	—

※委託料の内訳

(円)

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
永山公民館施設総合管理	30,736,309	31,390,820	32,002,930	32,486,010	33,906,109
永山公民館ホール施設等設備運営	9,292,320	9,378,360	9,913,200	9,913,200	9,913,200
休日及び夜間等窓口サービス	4,489,659	4,516,523	3,681,920	4,002,768	5,131,416
多摩市営永山複合施設駐車場指定管理料	8,687,520	8,767,952	8,848,400	8,848,400	8,848,400
永山公民館空調機分解整備	—	—	—	—	—
その他	1,438,560	2,012,760	2,029,500	2,029,500	3,756,500

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

永山公民館

10-05-02-651 学級・講座等社会教育事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	社会教育法第20条～第42条			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	C1-1	C2-1	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、第4次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和48年に多摩市公民館が開館し、社会教育法に基づく事業を開始した。永山公民館は平成9年に永山駅前に開館し、以来公民館として事業を継続して実施してきた。社会情勢や生活環境の変化等に対応して必要性や優先度を考慮して企画実施し、また一定の成果を上げた事業は見直しを行ってきた。事業開催に際しては市民及び市民団体と協働し、機会拡大と内容充実を図ってきた。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	社会教育法に基づき、住民のために実生活に即する教育、学術および文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため、市民の学習支援、地域づくりの支援を行う。個々の学びが、地域活動につながるよう、人づくりや市民グループの学びに広がって発展することを目指し、市民間における交流のコーディネートや、地域・生活課題解決に寄与できるよう各種講座を展開する。令和4年度は公民館の役割の一つでもある「学ぶ場づくり」を意識し、コロナ禍においても個々の「学び」が地域や市民活動につながり、また学習意欲を深めるきっかけとなるよう、各種講座を開催する。また関戸公民館と連携したアウトリーチを含めた地域づくりに力を入れていく。あわせて、施設の特性を活かし多くの世代に親しまれる催しや市民活動支援を行う。	
予算の執行方法	主催、共催事業の実施にあたり必要な講師謝礼、講座開講時の保育等業務委託料など事業執行に必要な経費を効果的・計画的に執行した。	
事業の成果	市民の様々な学びを大切にすることで社会教育活動が豊かなものとなり、知識や経験等を活かして地域活動への機会が創出された。また、「永山フェスティバル」をはじめ、多くの市民団体(市民)や地域と協働して開催していくことで団体活動の支援となり、市民力が源となって地域に根付く事業につながる事ができた。この他、様々な講座や事業を実施したことにより、公民館の認知度、未利用者へのアプローチも図られた。	

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	4,950 千円	4,941 千円	1,591 千円	2,237 千円	2,789 千円	
事業にかかる実コスト	39,868 千円	41,393 千円	37,237 千円	37,451 千円	30,920 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	111 千円	129 千円	62 千円	49 千円	88 千円
	都支出金	1,078 千円	1,371 千円	786 千円	985 千円	864 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	3,761 千円	3,441 千円	743 千円	1,203 千円	1,837 千円
間接経費						
職員人件費	33,602 千円	34,330 千円	33,484 千円	33,130 千円	16,599 千円	
《従事人員数》	4.00 人	4.00 人	4.00 人	4.00 人	2.00 人	
その他の人件費	1,316 千円	2,122 千円	2,162 千円	2,084 千円	11,532 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	各種学級講座および実行委員会共催事業等の開催	目標	37講座(116回) 2イベント	53講座(150回) 2イベント	55講座(152回) 2イベント
		結果	41講座(144回) 2イベント	45講座(138回) 2イベント	—
成果指標 (アウトカム)	事業延べ参加者数	目標	45,000人	71,200人	73,000人
		結果	9,059人	27,459人	—

特記事項

—

## ◇自己点検

成果 推移 指標	今後の見通し		方 向 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財源		
B	B	B	イ	市民・近隣大学・民間事業所等と連携しながら事業展開を図り、人づくり・地域づくりにつなげていく。また、新しい生活様式にあわせた事業の工夫とともに、公民館のPRも進め、新たな利用者層の拡大を目指していく。

10-05-02-651

## 学級・講座等社会教育事業

## ◇ 執行状況及び成果等

## 講座等参加者数の実績

講座名	30年度		元年度		2年度		3年度		4年度	
	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数
市民企画講座	36	1,153	34	528	2	79	14	271	27	640
ベルブゼミ	9	362	9	378	3	32	8	145	10	230
地域課題講座	5	147	6	193	—	—	—	—	2	31
子育て支援講座	17	391	11	274	7	118	6	32	2	78
保育室開放デー	12	378	11	336	10	90	13	174	13	106
子育てつどいの広場事業	24	1,210	21	914	15	275	23	405	23	381
小学校PTA共催事業	1	87	1	48	—	—	—	—	1	80
小学生科学等体験講座	10	443	5	188	12	61	10	159	6	213
学校や地域と連携した事業	1	71	—	—	—	—	—	—	1	104
家庭教育学級・講座事業	—	—	12	412	4	52	7	120	8	164
中学校PTA連合会共催事業	1	2,188	1	2,034	—	—	—	—	—	—
職場体験等受入事業	11	33	14	39	1	6	2	12	9	27
人権を考える講座	4	454	2	231	2	99	1	93	1	19
障がい者青年教室	9	314	9	307	4	123	4	116	8	245
時事・現代課題講座	1	27	—	—	13	437	7	297	5	106
市民講座	8	326	8	148	13	196	25	578	4	94
永山フェスティバル	2	83,199	2	76,007	1	2,818	1	37	3	12,293
地域イベント協力事業	1	263	1	50	—	—	—	—	1	210
サロンライトコンサート	10	3,348	8	2,461	5	225	8	484	10	861
TAMAシネマフォーラム	8	12,391	9	10,902	8	4,792	9	5,559	9	9,037
	6	1,104	5	1,339	1	94	2	457	7	1,816
アイアランドパネル展	—	—	—	—	1	285	—	—	—	—
公民館情報発信展	—	—	—	—	2	220	—	—	—	—
公民館を知ってもらおう展&市制50周年展	—	—	—	—	—	—	8	120	—	—
公民館通信	6	/	6	/	6	/	6	/	6	/

※「—」は未実施、「/」は集計外

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

関戸公民館

10-05-02-652

関戸公民館管理運営費

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	社会教育法第20条、同法第22条6号			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	C1-1	C1-2	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、第4次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成11年9月23日、市街地再開発事業により民間施設等との合築で関戸公民館として開館。利用者の立場に立った運営として、ホール使用料の割引制度の導入や利用枠改善のための公用利用の調整を実施。光熱水費などの諸コストの節約に取り組む。また、安定的な施設提供のため、20年目の大規模改修工事を計画し、令和元年度にホール、令和3年度から令和4年度にかけてその他改修工事を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を延期していた利用者懇談会を3年振りに開催した。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和4年度の目標	社会教育法に基づく社会教育施設としての利用に供するため、施設の円滑な管理運営を行う。利用者懇談会等を通じて、利用者の視点に立った貸館業務の改善や窓口対応の向上を図るとともに、管理組合と十分連携して施設内の安全管理を確保し、老朽化する設備等の計画的な修繕に取り組む。将来的に安定した施設提供を行うため、20年目の大規模改修工事を令和元年度にホール、令和3年度から令和4年度にかけてその他改修工事を行った。令和5年度についても良好な施設の管理に努める。
予算の執行方法	関戸公民館の施設運営に関する経費(光熱水費、修繕費、施設総合管理委託、保守委託、ホール運営委託、管理組合共益費など)、施設の窓口対応に要する経費(夜間・祝日受付など)、新型コロナウイルス感染症対策を講じるための消耗品経費を支出する。また、令和3年度より実施中の20年目の大規模改修工事(3・4年度2か年継続事業)が終了し、検査後に支出した。
事業の成果	諸室の貸室業務を行いながら市民ロビー等の改修工事を実施し、令和4年7月に工事が完了し、予定どおり8月から全館使用可能となった。また、改修工事に合わせて小規模修繕を実施し、施設機能の維持と利用者の安全性・利便性の向上を図った。新型コロナ感染症拡大防止により令和2年度から中断していた利用者懇談会を令和5年1月に開催した。

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	395,307 千円	596,428 千円	380,600 千円	393,341 千円	489,820 千円	
事業にかかる実コスト	426,684 千円	624,951 千円	410,024 千円	430,072 千円	526,502 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	152 千円	2,577 千円
	都支出金	0 千円	105,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	70,000 千円
	その他特定財源	10,514 千円	108,254 千円	3,924 千円	4,869 千円	15,835 千円
	一般財源	384,793 千円	383,174 千円	376,676 千円	388,320 千円	401,408 千円
	間接経費					
職員人件費	25,202 千円	17,165 千円	16,742 千円	24,848 千円	24,898 千円	
《従事人員数》	3.00 人	2.00 人	2.00 人	3.00 人	3.00 人	
その他の人件費	6,175 千円	11,358 千円	12,682 千円	11,883 千円	11,784 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	年間施設(貸館)使用可能件数	目標	9,000件	9,000件	11,154件
		結果	8,181件	10,209件	—
成果指標 (アウトカム)	実際の施設利用件数(利用者延べ人数)	目標	4,600件 75,000人	4,100件 72,000人	6,680件 69,009人
		結果	3,161件 26,450人	4,719件 57,456人	—

## 特記事項

20年目の大規模改修のため、4月から7月までの4か月間、ホールの利用制限を行ったほかギャラリー、第1・2学習室を使用中止とした。

## ◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント	
	量 的 的	財 源 的			
B	B	B	イ	開館20年以上が経た現在、コロナ禍において必要な対応を講じつつ、日々の管理点検等必要な対応を実施し、今後も利用者に快適で安定的な施設として提供し続けていけるよう施設管理に努める。	

10-05-02-652

関戸公民館管理運営費

◇ 執行状況及び成果等

1 施設使用状況

年 度	使用可能件数	使用件数				使用率 (%)	使用人数 (人)
		目的内	官公庁	主 催	計		
30	11,121	5,339	747	478	6,564	59.0%	90,783
元	10,002	4,436	600	372	5,408	54.1%	68,462
2	8,826	2,793	520	240	3,553	40.3%	28,583
3	8,181	2,443	518	200	3,161	38.6%	26,450
4	10,209	3,774	526	419	4,719	46.2%	57,456

※使用可能件数：年度内に使用可能な貸出単位（貸出単位は、毎日各室とも午前・午後・夜間の3単位）

2 管理経費

単位：円

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
経費合計	395,306,857	596,428,268	380,600,282	393,341,470	489,819,856
需用費	27,068,131	22,529,937	18,915,647	21,871,762	30,338,713
役務費	1,318,372	1,155,615	1,189,210	1,187,199	1,184,909
委託料	45,702,426	36,927,142	37,847,049	37,819,775	44,819,031
使用料及び賃借料	660,513	571,197	487,581	599,164	642,956
工事請負費	0	216,838,600	6,503,860	23,767,700	110,326,700
原材料費	0	0	0	0	0
公有財産購入費	283,561,293	278,258,574	272,955,855	267,653,136	262,365,483
備品購入費	0	2,894,400	1,839,750	0	72,600
負担金・補助及び交付金	36,965,227	37,247,833	38,822,330	39,949,344	39,949,344
償還金・利子及び割引料	30,895	4,970	2,039,000	493,390	120,120

※委託料の内訳

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
舞台照明機器保守点検委託料	584,820	584,820	595,650	595,650	595,650
映像・音響機器保守点検委託料	712,800	712,800	889,350	889,350	889,350
ホール吊物・床機構保守点検委託料	861,624	430,812	877,580	877,580	877,580
公民館施設総合管理業務委託料	21,437,112	21,966,043	22,167,567	22,167,567	22,171,162
ヴァイタホール施設設備運営業務委託料	9,136,800	7,737,422	8,566,800	8,566,800	8,566,800
休日及び夜間等窓口サービス業務委託料	3,831,747	4,375,033	3,535,482	3,885,728	4,951,069
その他	9,137,523	1,120,212	1,214,620	837,100	6,767,420
計	45,702,426	36,927,142	37,847,049	37,819,775	44,819,031

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

関戸公民館

10-05-02-653 学級・講座等社会教育事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	社会教育法第20条～42条			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	C1-1	C1-2	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、第4次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和48年に多摩市公民館が開館し、社会教育法に基づく事業を開始した。関戸公民館は平成11年に聖蹟桜ヶ丘駅前に開設し、市民ニーズや地域、社会的な課題等を踏まえた講座を企画し、また市民活動を支援し教育文化の振興を図ってきた。その中で一定の成果をあげた事業は見直しを行ってきた。主要事業の開催に際しては市民及び市民団体と協働し、機会拡大と内容の充実を図ってきた。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	社会教育法に基づき、住民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため、市民の学習支援、地域づくりの支援を行う。個々の学びが地域活動につながるよう、人づくりや市民グループの学びへの発展を目指し、市民間における交流のコーディネートや、地域・生活課題解決に寄与できるよう各種講座を展開する。令和4年度は、公民館の役割の一つでもある「学ぶ場づくり」を意識し、コロナ禍においても個々の「学び」が地域や市民活動につながり、また学習意欲を深めるきっかけとなるよう、各種講座を開催する。また、永山公民館と連携してアウトリーチを含めた地域づくりに力を入れていく。あわせて、施設の特性を活かし、多くの世代に親しまれる催しや市民活動支援を行う。	
予算の執行方法	主催、共催事業の実施にあたり必要な講師謝礼、講座開講時の保育等業務委託料など事業執行に必要な経費を効果的・計画的に執行した。	
事業の成果	市民の社会教育活動が豊かなものとなり、自分が持っている知識や経験などを活かす機会を創出し、地域・生活の課題を考える講座や、市民文化活動を支援する事業を実施したことにより、地域の生活課題等を踏まえた地域活動のきっかけとなった。また、市民の課題解決力が高まる事をめざし、「地域ふれあいまつり」をはじめ、多くの市民団体(市民)やコミュニティセンターなど、地域と協働しつながれる事業を実施した。	

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	1,903 千円	2,127 千円	1,480 千円	1,142 千円	1,454 千円	
事業にかかる実コスト	24,795 千円	24,624 千円	22,718 千円	17,707 千円	23,669 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	74 千円	34 千円	18 千円	34 千円	17 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	1,829 千円	2,093 千円	1,462 千円	1,108 千円	1,437 千円
	間接経費					
職員人件費	16,801 千円	17,165 千円	16,742 千円	16,565 千円	16,599 千円	
《従事人員数》	2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	
その他の人件費	6,091 千円	5,332 千円	4,496 千円	0 千円	5,616 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	各種学級講座及び実行委員会共催事業等の開催	目標	25講座(84回) 2イベント	30講座(110回) 2イベント	30講座(110回) 2イベント
		結果	39講座(100回) 1イベント	28講座(88回) 1イベント	—
成果指標 (アウトカム)	事業延べ参加人数	目標	8,250人	8,000人	10,000人
		結果	3,077人	6,917人	—

特記事項

—

## ◇自己点検

の 成 果 指 標 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 般		
B	A	B	I	必要に応じて新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、つながりや連携のなかでの市民の学びを保障する社会教育事業の展開方法の検討並びに、高齢化社会における市民の居場所・いきがづくりやデジタル・ディバイドの課題を解決するための取組を進める必要がある。

10-05-02-653

学級・講座社会教育事業

◇ 執行状況及び成果等

講座等参加者数の実績

講座名	30年度		元年度		2年度		3年度		4年度	
	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数	講座回数	参加者数
市民企画講座	11	146	28	516	0	0	0	0	4	39
地域貢献講座	-	-	-	-	5	79	3	67	-	-
地域ふれあいフォーラム (令和4年度より 「VITAふれあいまつり」)	1	6,000	-	-	-	-	-	-	1	2,000
社会起業家講座	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
地域課題講座	5	147	6	193	-	-	5	109	1	23
子育て安心講座	2	88	2	71	1	19	3	17	1	8
薬物乱用防止講座	2	252	-	-	3	345	4	472	3	300
親子参加型事業	1	17	1	16	-	-	-	-	1	4
茶道教室	1	16	-	-	-	-	-	-	-	-
自立と就労を考える (家族問題講座)	2	26	-	-	-	-	2	37	1	7
職場体験の受入れ等	15	39	10	30	1	6	-	-	3	9
保育室開放デー	23	422	20	338	13	23	14	40	13	54
関戸地球大学院	6	187	6	217	6	194	6	230	6	203
郷土史講座	4	123	2	37	2	68	1	7	4	57
市民講座	7	194	6	141	3	65	24	238	12	217
現代課題講座	1	27	-	-	2	168	4	149	-	-
伝承文化教室	5	120	3	87	-	-	-	-	-	-
市民ロビー活用事業	14	2,990	15	3,050	8	86	3	167	1	100
地域活性化事業	3	3,354	4	2,800	-	-	1	62	1	76
演劇フェスティバル	29	1,972	16	1,490	2	166	15	658	14	1,185
人形げきまつり	1	3,000	1	1,500	-	-	-	-	-	-
マンスリーコンサート	12	1,982	8	1,090	7	520	6	440	7	690
What's Jazz	4	1,620	2	782	2	204	4	384	8	1,070
その他連携事業	-	-	-	-	-	-	-	-	8	875
公民館通信	6		6		6		6		6	

※ 「-」は未実施事業



事業カルテ ( 4年度決算 ) 合体カルテ (サブカルテ有) 図書館

10-05-03-655~659 図書館事務経費・図書整理事業・図書購入事業・図書館運営経費・障がい者サービス事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	図書館法・障害者差別解消法・視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち					
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり				
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり				
	関連する施策	A2-1	A2-2	B4-1	-	-	
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、多摩市読書活動振興計画、第三次多摩市子どもの読書活動推進計画、多摩市立図書館本館再構築基本構想、多摩市立図書館本館再整備基本計画、多摩市立中央図書館管理運営方針、第四次多摩市生涯学習推進計画						
関連する報告書など	多摩市の教育、多摩市の図書館						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和48年の開館以来貸出サービスを中心に市民の読書を支え、図書館網を整備してきた。平成17年度にインターネット対応、学校図書館との連携等図書館システムの再構築を実施。23年度には唐木田図書館を業務委託方式で開館。28年度に読書活動振興計画を策定。30年度に図書館コンピュータシステムを更新した。令和2年度から多摩市デジタルアーカイブの公開、電子図書館の運用を開始した。						

◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	持続可能な社会を目指し、すべての市民が必要とする資料や情報を得ることを支援し、気軽に利用できる図書館サービスの実現のため積極的な図書館活動を推進する。市役所内各課の事業と連携し、関連したテーマの本の企画展示を実施し、健幸まちづくりに繋がる事業への取り組み等を広く情報提供する。図書購入事業において中央図書館分の図書購入を進める。令和3年1月に運用を開始した電子図書館コンテンツを充実させていく。	
予算の執行方法	図書館運営全体にかかる経費。人件費、図書費、施設維持管理費、業務委託料等の執行。	
事業の成果	多摩市読書活動振興計画、第三次多摩市子どもの読書活動推進計画を進め、市民の読書活動の振興を図った。また、様々なテーマの本の企画展示、事業実施を行うとともに、本館閉館・中央図書館開館イベント企画を募集し、協働での実施に向けた準備を行った。中央図書館分の図書購入を計画的に実施するとともに、電子図書館のコンテンツを充実させた。	

◇事業にかかる費用

区分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	290,365 千円	270,519 千円	390,297 千円	321,458 千円	324,931 千円	
事業にかかる実コスト	615,578 千円	595,165 千円	698,910 千円	634,183 千円	641,122 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	1,116 千円	856 千円	1,109 千円	927 千円	943 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	1,484 千円	1,352 千円	1,238 千円	740 千円	3,309 千円
	一般財源	287,765 千円	268,311 千円	387,950 千円	319,791 千円	320,679 千円
	間接経費					
職員人件費	247,818 千円	235,760 千円	228,194 千円	226,445 千円	242,255 千円	
《従事人員数》	29.50 人	27.47 人	27.26 人	27.34 人	29.19 人	
その他の人件費	77,395 千円	88,886 千円	80,419 千円	86,280 千円	73,936 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	図書館の開館日数 (市内いずれかの図書館が開館している日数)	目標	356日	355日	360日
		結果	356日	355日	—
成果指標 (アウトカム)	資料の貸出冊数	目標	1,692,000冊	1,692,000冊	1,845,000冊
		結果	1,476,710冊	1,463,830冊	—

特記事項 令和4年度より地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブ事業を図書館運営経費に統合する。

◇自己点検

の 成 果 指 標 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 的	財 一 源 般		
B	A	A	ウ	中央図書館の整備にあたりサービスの向上と運営の効率化を図るため、事業、運営の見直しを進めた。

サブカルテ ( 4年度決算 )		図書館運営経費	図書館
10-05-03-658	子どもの読書活動推進に係る経費		

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令					子どもの読書活動の推進に関する法律				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち									
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり								
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり								
	関連する施策	A2-1	A2-2	-	-	-	-	-	-		
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、多摩市読書活動振興計画、第三次多摩市子どもの読書活動推進計画、多摩市立図書館本館再構築基本構想、多摩市立図書館本館再整備基本計画、多摩市立中央図書館管理運営方針、第四次多摩市生涯学習推進計画										
関連する報告書など	多摩市の教育、多摩市の図書館										
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の策定、推進 平成18年11月多摩市子どもの読書活動推進計画(第一次)、平成24年2月第二次計画、平成30年3月第三次計画を策定した。第三次計画を着実に推進していくためにアクションプランを作成し、担当課、小・中学校が毎年、振り返りを行い、更新している。</li> <li>組織の見直し 平成25年度に図書館の組織全体の見直しを行い、「子ども読書支援係」を設置した。なお、本カルテは平成27年度から開始した。</li> </ul>										

◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成18年度
事業の目的、 令和4年度の目標	アクションプランに基づく第三次計画の施策の推進。	
予算の執行方法	図書購入費(新聞購読、書籍購入)、図書館運営経費(報償費、消耗品)の適正な執行。	
事業の成果	①市立図書館と学校図書館を軸とする読書環境の整備、充実を図った。 ②第三次計画の進捗を振り返りながら、第一次、第二次計画から続く課題に対する着実な施策を推進した。 ③令和4年度より、中高生向け「多摩市立図書館ニュース」の発行を開始した。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	13,530 千円	12,170 千円	13,633 千円	9,589 千円	8,182 千円	
事業にかかる実コスト	39,740 千円	40,235 千円	36,151 千円	32,118 千円	27,851 千円	
内 訳	直接経費	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	75 千円
		一般財源	13,530 千円	12,170 千円	13,633 千円	9,514 千円
	間接経費	職員人件費	26,210 千円	28,065 千円	22,518 千円	22,529 千円
	《従事人員数》	3.12 人	3.27 人	2.69 人	2.72 人	
	その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	乳幼児、児童、ティーンズ向け図書(雑誌を除く)購入費 *令和3年度から電子書籍の購入を開始したが、この購入費からは除外している。	目標	9,460千円	9,106千円	9,151千円
		結果	8,864,574円	7,506,405円	—
成果指標 (アウトカム)	乳幼児、児童、ティーンズ向け図書の貸出冊数(市立図書館・学校図書館)	目標	794,000冊	691,000冊	801,000冊
		結果	831,603冊	791,800冊	—

特記事項	—
------	---

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方 向 後 の 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財源		
N	A	A	イ	第三次計画の成果の検証と次期計画の策定準備

サブカルテ ( 4年度決算 )		障がい者サービス事業	図書館
10-05-03-659	障がい者サービス事業		

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	図書館法、障害者差別解消法、視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち					
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり				
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり				
	関連する施策	B4-1	-	-	-	-	
関連する個別計画	多摩市読書活動振興計画、多摩市立図書館本館再構築基本構想、多摩市立図書館本館再整備基本計画、多摩市立中央図書館管理運営方針						
関連する報告書など	多摩市の教育、多摩市の図書館						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	国際障がい者年の昭和56年から障がい者向け音訳図書の貸出を開始し、平成9年開館の永山図書館を障がい者サービスの拠点とした。平成26年度からは国立国会図書館の視覚障がい者用データベースに多摩市で作製したデータの提供を開始した。平成29、30年度音訳者新規養成のための講座を開催。令和元年度障がい者等用情報機器の更新を行った。令和3年度末に障がい者サービス要綱を一部改定し令和4年度より施行した。サービス対象者の枠を拡大するとともに、提供する音訳図書の種類を増やし、利用者への提供サービスの向上を図った。						

◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	何らかの障がいにより、印刷文字による読書が困難な方や図書館へ来館することが困難な方などの読書要求に応じていくことを目的とする。令和4年度は「読書バリアフリー基本計画(文部科学省・厚生労働省)に基づき、「多摩市立図書館障がい者サービス事業実施要綱」を改正し、様々な障がいを持つ方の読書環境の向上を図る。	
予算の執行方法	音訳編集研修の講師及び行政協力員等の謝礼、音訳・点訳資料等の消耗品、障がい者等用情報機器借上料の執行。音訳図書のうち、テキストデジタイズ図書作成のためのソフトウェアを備品購入し、利用者へのサービス拡充を図った。	
事業の成果	音訳資料及び点訳資料の作製、対面朗読や図書の宅配サービス等を提供し、障がいを持った方々の利便性の向上を図り、読書要求に応えた。また、現在、永山図書館にある障がい者サービス拠点を、中央図書館に移転するための準備作業を行った。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)
決算額(単位:千円)	2,233 千円	1,711 千円	2,218 千円	1,853 千円	1,885 千円
事業にかかる実コスト	16,925 千円	12,708 千円	17,640 千円	16,317 千円	16,385 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支支出金	1,116 千円	856 千円	1,109 千円	927 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	1,117 千円	855 千円	1,109 千円	926 千円
	間接経費				
職員人件費	8,989 千円	6,094 千円	12,808 千円	12,258 千円	
《従事人員数》	1.07 人	0.71 人	1.53 人	1.48 人	
その他の人件費	5,703 千円	4,903 千円	2,614 千円	2,206 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	音訳資料・雑誌、点字資料の作製数	目標	28タイトル	30タイトル	32タイトル
		結果	32タイトル	30タイトル	—
成果指標 (アウトカム)	音訳資料、点字資料の利用件数＋対面朗読実施回数＋利用者への宅配回数	目標	3,566件	3,222件	2,829件
		結果	2,387件	1,992件	—

特記事項	—
------	---

◇自己点検

の成 推標 移指	今後の見通し 質的 量的	方今 向後 性の	今後の課題や方向性に関するコメント
C	A	B	イ
			障がい者サービス事業の拠点は、永山図書館から中央図書館へ移転する。移転の際はスムーズな移転を行うとともに、移転後も幅広く市民に向けて障がい者サービス事業の啓発と浸透を図る。

10-05-03-655～659

図書館事務経費・図書整理事業・図書購入事業・図書館運営経費・障がい者サービス事業

## ◇ 執行状況及び成果等

## ＜図書館事務経費＞

## 1 多摩市図書館協議会委員の構成 7人

(内訳：学識経験のある者2人、学校教育の関係者1人、社会教育の関係者1人、家庭教育の向上に資する活動を行う者1人、図書館を利用する者2人)

## 2 多摩市図書館協議会開催状況及び報酬内訳

(円)

年度	開催回数	委員報酬額	内訳
30	4回	235,200	会長12,500×4回 副会長11,800×3回 委員10,700×14回
元	5回	314,100	会長12,500×5回 副会長11,800×5回 委員10,700×18回
2	4回	268,400	会長12,500×4回 副会長11,800×4回 委員10,700×16回
3	5回	290,500	会長12,500×5回 副会長11,800×3回 委員10,700×18回
4	5回	300,100	会長12,500×5回 副会長11,800×2回 委員10,700×20回

## 3 多摩市図書館協議会の主な検討内容

開催日	主な検討内容
5月19日	・事業評価の評価方法について ・多摩市立中央図書館管理運営方針(骨子案)について
7月28日	・令和3年度多摩市立図書館事業評価について ・多摩市立中央図書館管理運営方針(素案)について
8月26日	・令和3年度多摩市立図書館事業評価について
10月26日	・令和3年度多摩市立図書館事業評価について ・多摩市立中央図書館管理運営方針について
1月30日	・令和4年度多摩市立図書館事業評価の評価方法について

## ＜図書購入事業＞

## 1 過去5年間の蔵書数の推移

年度	購入	寄贈/その他	除籍	蔵書	増減	人口(人)	市民1人当たり
30	24,121	3,430	16,174	756,689	11,377	148,691	5.09
元	23,363	4,265	31,267	753,050	△3,639	148,835	5.06
2	25,349	3,871	23,325	758,945	5,895	148,411	5.11
3	26,184	3,806	15,550	773,385	14,440	147,552	5.24
4	31,225	3,092	12,948	794,754	21,369	148,107	5.37

\* 令和5年3月31日現在の電子書籍コンテンツタイトル数は6,270点である。

2 過去5年間の図書購入事業費の推移

年度	合計	内訳				
		10節 (雑誌・新聞)	13節 (オンラインデータベース)	13節 (電子図書館)		17節 (書籍・CD、カセット等)
				コンテンツ使用	システム使用	
30	56,375,792	9,191,956	1,683,900	—	—	45,499,936
元	56,869,600	9,406,714	1,948,087	—	—	45,514,799
2	93,972,308	9,510,008	1,965,902	15,103,999	198,000	67,194,399
3	85,384,610	9,963,128	1,965,902	11,588,807	792,000	61,074,773
4	82,991,877	10,026,115	1,965,902	2,770,878	792,000	67,436,982

3 学校図書館への支援(調べ学習充実のための資料)

年度	購入額(円)	購入点数(冊)	主な購入図書
30	549,838	147	ポプラディア情報館ほか
元	534,127	196	マイクロワールド人体大図鑑 全7巻セットほか
2	501,871	162	調べようごみと資源 全6巻ほか
3	498,852	87	総合百科事典ポプラディア 全18巻ほか
4	447,949	244	「しぜんにタッチ」シリーズ ほか

<図書館運営経費>

1 令和4年度の利用状況(個人利用)

館名	開館日数	貸出者数	貸出冊数	予約件数	利用者割合
図書館本館	331	142,654人	338,039冊	88,759件	20.9%
東寺方図書館	295	33,041人	75,495冊	25,416件	4.8%
豊ヶ丘図書館	295	61,847人	134,161冊	44,830件	9.1%
関戸図書館	306	146,754人	290,668冊	98,080件	21.5%
聖ヶ丘図書館	295	39,891人	90,916冊	31,590件	5.8%
永山図書館	305	201,630人	409,774冊	137,737件	29.5%
唐木田図書館	294	53,935人	118,591冊	41,036件	7.9%
行政資料室	242	3,516人	6,186冊	4,769件	0.5%
合計	—	683,268人	1,463,830冊	472,217件	100.0%

\* 予約件数には多摩市立図書館未所蔵資料への申込み(リクエスト)も含む。

2 図書館本館及び関戸図書館施設管理経費

(円)

年度	図書館本館			関戸図書館		
	修繕料	維持補修工事	保守業務委託	修繕料	維持補修工事	保守業務委託
30	1,217,235	0	14,358,756	54,000	158,544	1,630,800
元	1,185,646	0	15,445,999	256,525	0	1,655,740
2	409,937	0	16,115,178	880,660	0	1,749,000
3	694,100	0	16,142,678	0	0	1,760,000
4	537,262	0	15,716,244	25,410	0	1,773,200

3 多摩市デジタルアーカイブ事業費の推移

(円)

年度	合計	内訳			
		サーバー使用料	委託料		
			デジタルアーカイブ作成業務委託料	ホームページ作成業務委託料	掲載用データ作成業務委託料
2	15,058,175	44,000	14,832,675	181,500	—
3	15,541,130	264,000	15,167,130	—	110,000
4	374,000	264,000	—	—	110,000

4 おはなし会実施状況

館名	30年度		元年度		2年度		3年度		4年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
図書館本館	99回	877人	96回	865人	24回	145人	47回	270人	87回	581人
東寺方図書館	26回	184人	23回	131人	8回	64人	14回	77人	27回	194人
豊ヶ丘図書館	47回	561人	37回	682人	1回	25人	6回	30人	27回	282人
関戸図書館	63回	495人	41回	346人	3回	18人	25回	120人	48回	272人
聖ヶ丘図書館	61回	585人	51回	488人	10回	134人	27回	304人	43回	396人
永山図書館	71回	977人	62回	570人	3回	6人	29回	130人	66回	292人
唐木田図書館	45回	486人	39回	302人	8回	58人	19回	183人	33回	341人
合計	412回	4,165人	349回	3,384人	57回	450人	167回	1,114人	331回	2,358人

\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月～10月、令和3年1月～3月、令和3年4月25日～6月30日、7月12日～9月30日のおはなし会は中止した。

5 ブックスタート 多摩市絵本かたりかけ事業実施状況

年度	開催回数	対象者数	絵本配付者数 (うち健診日以外の配付者数)	配付率	絵本購入費	市民ボランティア協力者延人数
30	24回	916人	899人(18人)	98%	475,200円	113人
元	23回	874人	860人(8人)	99%	478,720円	96人
2	18回	802人	785人(11人)	98%	290,400円	0人
3	24回	733人	729人(20人)	99%	291,060円	0人
4	24回	718人	715人(10人)	99%	341,880円	0人

- \*健康センターで実施している「3～4か月児健康診査」で絵本、ブックリスト等を配付。
- \*健診会場での絵本の配付は市民ボランティアと協働で実施。
- \*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年4月～6月の健康センターでの健診中止期間は、郵送にて絵本を配付した。また、令和2、3、4年度は市民ボランティアの活動は中止した。
- \*平成30年度から事業名を、ブックスタート多摩市絵本かたりかけ事業に変更。  
(未受診者は後日各図書館や、健康センターの訪問事業でも受け取ることができる)

## <障がい者サービス事業>

### 1 録音図書・雑誌等障がい者サービス利用状況

年度	テープ図書 (件)	テープ雑誌 (件)	デジター図書 (件)	デジター雑誌 (件)	点字図書 (件)	対面朗読		資料宅配 (回)
						(時間)	(回数)	
30	5	28	2,137	1,043	63	493	268	68
元	6	22	2,102	975	77	367	199	59
2	5	14	1,701	869	81	69	43	56
3	7	10	1,321	875	63	67	34	77
4	0	6	1,144	736	0	44	22	84

### 2 国立国会図書館視覚障がい者等用データベース利用状況（ダウンロード・ストリーミング）

年度	デジター図書		デジター雑誌		点字図書	
	提供数	利用数	提供数	利用数	提供数	利用数
	(タイトル)	(件)	(タイトル)	(件)	(タイトル)	(件)
30	138	1,752	56	497	47	1,185
元	146	1,798	67	790	47	1,953
2	151	1,786	79	742	47	2,409
3	153	2,239	91	617	47	1,509
4	153	1,857	103	1,039	47	813

\*平成26年9月よりデータベースへのデータ提供を開始。

### 3 行政協力員・ボランティア謝礼

(円)

年度	録音図書作製等	デジター編集	対面朗読	資料宅配	点字本作製
30	207,850	190,880	295,800	47,600	49,300
元	117,310	125,420	220,200	38,500	75,000
2	192,890	176,750	41,400	36,400	50,700
3	115,770	111,970	40,200	50,400	28,100
4	82,980	89,110	26,400	49,700	31,200